

東北中央自動車道へのスマートIC連結について

～(仮称)高畠スマートICの検討経緯・整備効果～

まほろばの里[®]

たかはた





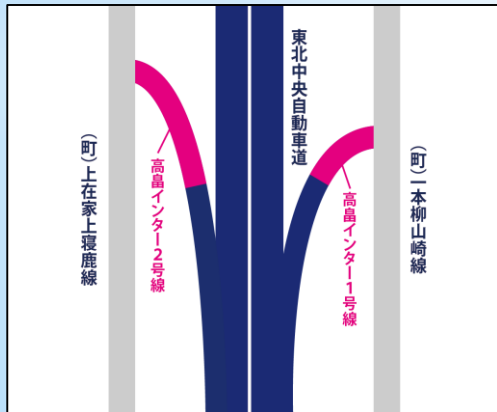
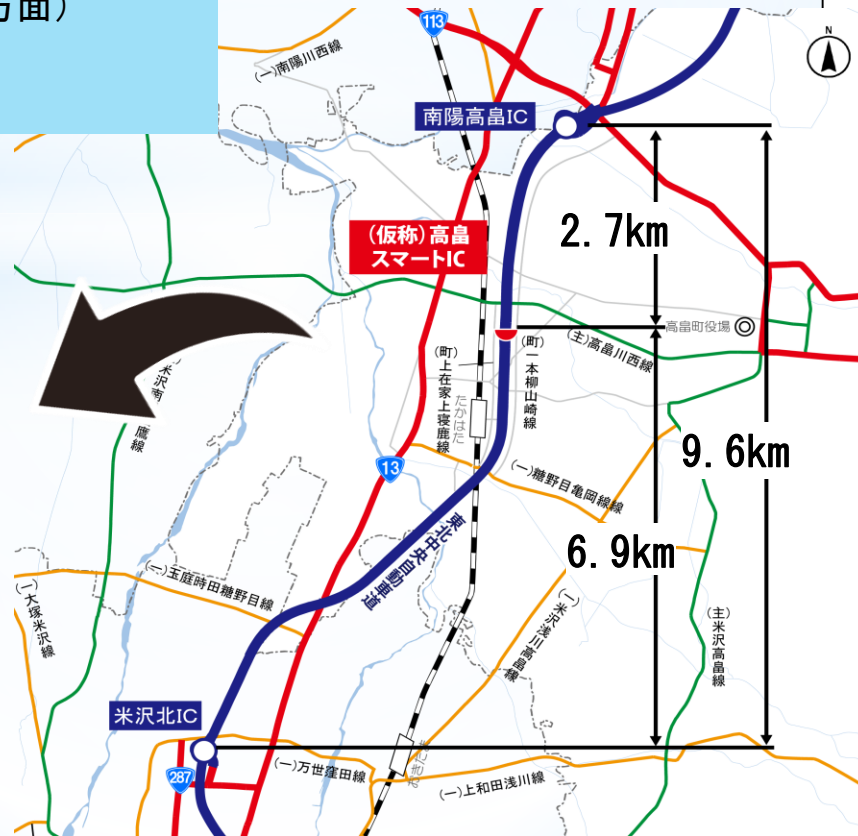
整備概要と位置について



<概要>

- 路線名 : 一般国道13号
(米沢北IC～南陽高畠IC間)
- 設置場所 : 山形県高畠町
- 接続形式 : 本線直結型
- 形式 : 上り方向 (2/4)(福島方面)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>





検討経緯について



- スマートICの本格的な調査は、平成28年度より接続可能箇所の検討から開始し、候補地の選定や整備効果の検討を行い、地盤調査及び概算工事費の算定、交差点協議などを経て、実施計画書の策定に至りました。
- 関係機関のご指導のもと、勉強会を7回、令和元年9月27日の準備段階調査への採択以降には、準備会を4回開催し、庁内ではプロジェクトチームを立ち上げ、専門分野から様々な検討を行う一方、町商工会からは設置要望書の提出を受けています。
- 令和2年9月11日に地区協議会を設立し実施計画書の承認を得て、連結協議書の提出を行った。令和2年10月23日付けで新規事業化箇所に採択され高速道路会社への事業許可された。

町で計画検討・調整

広域的検討

- ・ICの必要性
- ・周辺道路の現況・整備方針の確認 等

概略検討

- ・ICの社会便益及び利用交通量(国)
- ・ICの位置・構造
- ・周辺道路の整備計画 等

詳細検討

- ・IC及び周辺施設の詳細設計
- ・整備費用及び負担区分
- ・管理・運営方法 等

地区協議会の開催(国・県・警察・NEXCO・地方自治体・民間)
実施計画書の策定・提出(地方自治体→国・機構・NEXCO)

新規事業化(国)
整備計画決定(国)
連結許可(国→地方自治体)

平成
28年度

町が主催での検討

勉強会を7回開催(H29.3.16~H31.4.9)
プロジェクト(町内組織)を3回開催
(H29.7.6~H30.11.30)

ICの必要性等の確認
※R1. 9. 27準備段階調査の採択

準備会

国による準備段階調査

- ① 第1回準備会(設立趣旨、周辺概要)
(R1. 11. 14)
- ② 第2回準備会(実施計画書(原案)検討)
(R2. 2. 20)
- ③ 第3回準備会(実施計画書(案 修正版)検討)
(R2. 5. 28:書面開催)
- ④ 第4回準備会(実施計画書(案)承認、地区協議会)
(R2. 7. 30)

地区協議会

町による地区協議会

第1回地区協議会(設立)(R2. 9. 11)

現在

新規事業化の採択(R2. 10. 23)



整備効果について ①

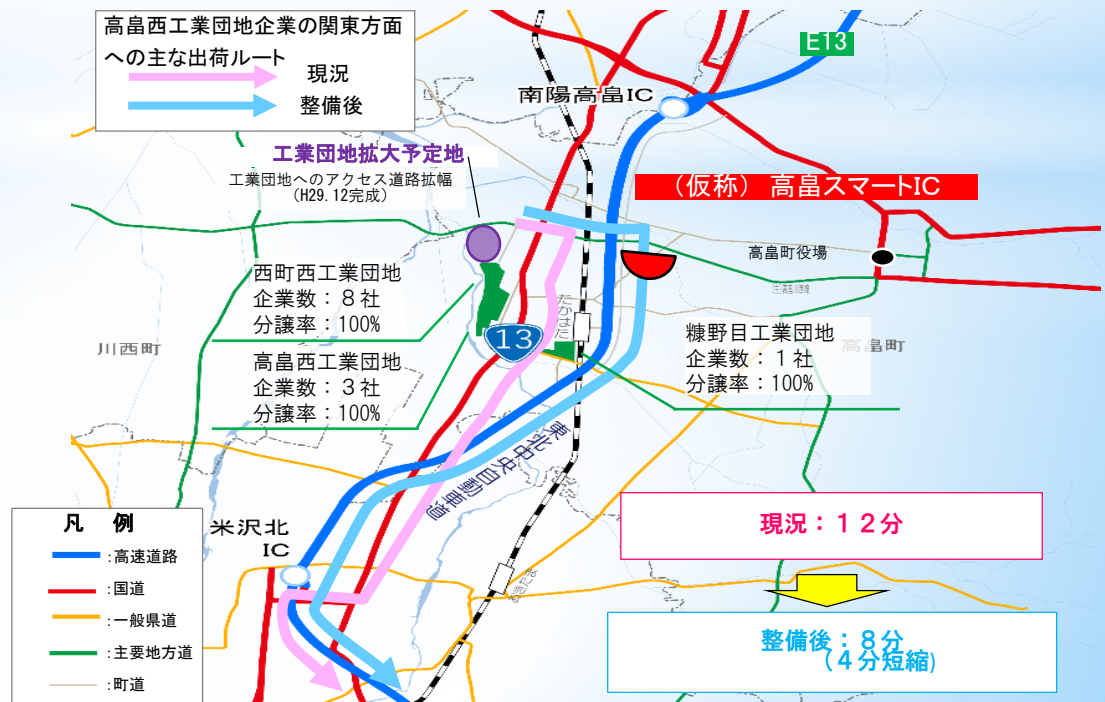


～ 産業振興 ～

物流効率化による生産性向上及び企業誘致の促進

- ・スマートICの整備により、工業団地から関東方面への所要時間が短縮され、物流の効率化が期待される。
- ・スマートICの整備に合わせて新たな工業団地の拡大を進めており、企業誘致の促進、雇用創出が期待される。

令和8年度を目標に工業団地を拡大造成中





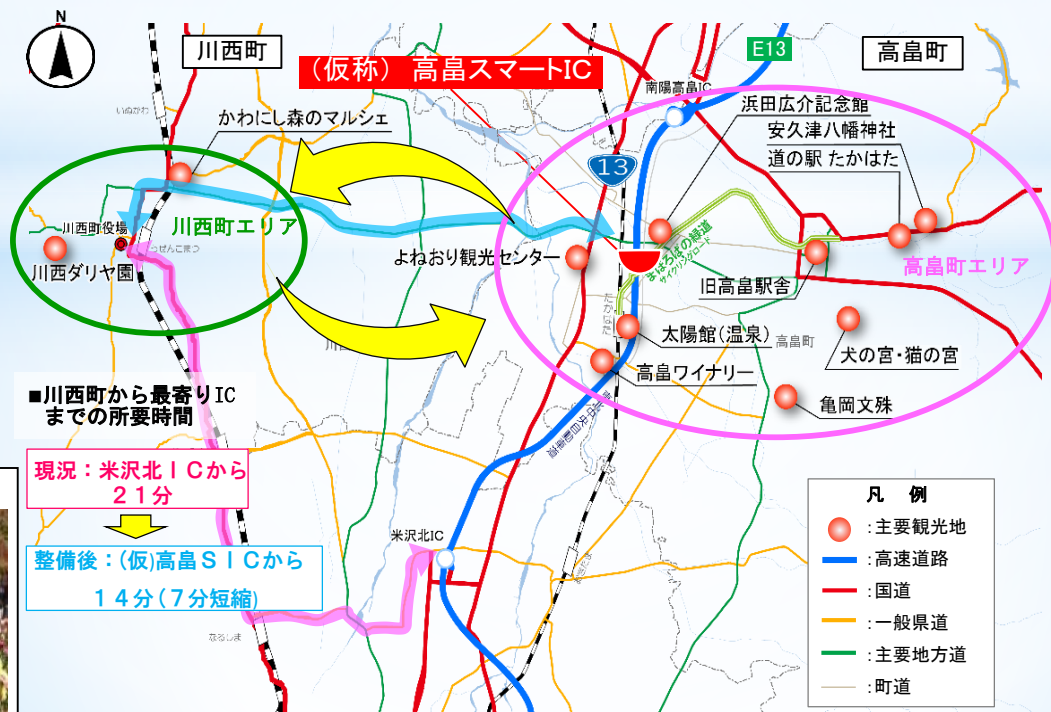
整備効果について ②



～ 観光振興 ～

観光交流人口拡大及び周辺地域との連携促進

・スマートICの整備により、高畠町エリアの観光施設へのアクセス性向上だけでなく、川西町エリアの観光施設への周遊性が向上し、観光交流人口の拡大、地域活性化が期待される。



東北最大級・2019日本ワイナリーアワード 五つ星 高畠ワイナリー (21万人/年)



日本の三文珠・学問の神様 亀岡文殊 (28万人/年)



川西ダリヤ園 (5万人/年)

